



平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年5月10日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東
 コード番号 2883 URL http://www.dai-rei.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 修
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月19日 配当支払開始予定日 平成30年6月20日
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の業績 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	27,442	1.2	846	△33.3	858	△33.1	579	△33.1
29年3月期	27,104	△1.5	1,270	8.6	1,282	8.8	867	10.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
30年3月期	円 銭 96.51	円 銭 —	% 8.2	% 8.1	% 3.1
29年3月期	144.36	—	12.9	12.8	4.7

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 ー百万円 29年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	11,294	7,221	63.9	1,201.86
29年3月期	10,016	6,969	69.6	1,160.02

(参考) 自己資本 30年3月期 7,221百万円 29年3月期 6,969百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	1,138	△168	△346	2,979
29年3月期	976	△135	△346	2,356

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	—	—	—	55.00	55.00	330	38.1	4.9
30年3月期	—	—	—	55.00	55.00	330	57.0	4.7
31年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00		42.9	

3. 平成31年3月期の業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,667	△1.2	553	△16.2	557	△16.1	380	△15.1	63.34
通期	27,400	△0.2	1,100	29.9	1,105	28.7	770	32.8	128.16

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

30年3月期	6,008,300 株	29年3月期	6,008,300 株
30年3月期	27 株	29年3月期	27 株
30年3月期	6,008,273 株	29年3月期	6,008,273 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期における我が国経済は、好調な海外経済を背景に輸出企業を中心に企業業績は堅調に推移し、消費も緩やかな回復基調がみられました。しかしながら、依然として海外の政治情勢の不確実性の高まり等から、海外経済全体への影響が懸念される等、先行き不透明な状況が続いております。

国内食品業界におきましては、消費者の安全・安心への意識の高まりや、高付加価値商品への多様なニーズがある一方で、消費者の節約志向が恒常化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社は、大手ユーザーへのPB商品販売に積極的に取り組むなど、収益力の向上に努めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、新商品骨取り魚などの拡販に努めましたが、価格競争による値引き販売などにより売上高12,174,253千円（前年同期比1.3%減）、ミート事業におきましては、「楽しく匠味シリーズ」の販売が引き続き好調に推移したことにより売上高2,823,829千円（前年同期比0.3%増）、その他事業におきましては、大手ユーザーとの取組み強化が寄与して売上高12,444,658千円（前年同期比4.0%増）となりました。これにより当期の売上高は27,442,741千円（前年同期比1.2%増）となりました。

損益面につきましては、仕入のコストダウンに引き続き取り組んでまいりましたが、公正取引委員会からの下請代金支払遅延等防止法に基づく勧告を受けたことにより、営業利益は846,673千円（前年同期比33.3%減）、経常利益は858,483千円（前年同期比33.1%減）、当期純利益は579,864千円（前年同期比33.1%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当期の総資産は1,277,570千円増加し11,294,185千円となりました。これは主にソフトウェアが24,429千円減少した一方で、現金及び預金が622,826千円、売掛金が506,003千円増加したことによるものです。

(負債の部)

負債合計は1,026,151千円増加し4,073,058千円となりました。これは主に未払法人税等が157,479千円減少した一方で、買掛金が1,171,336千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産合計は251,418千円増加し7,221,127千円となりました。これは主に配当金の支払を330,455千円行った一方で、当期純利益を579,864千円計上したことにより、利益剰余金が増加したことによるものです。これにより自己資本比率は63.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：千円)

	平成29年3月期	平成30年3月期	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	976,557	1,138,094	161,537
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,604	△168,471	△32,867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346,042	△346,042	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	△181	△754	△572
現金及び現金同等物の増減額	494,728	622,826	128,097
現金及び現金同等物の期末残高	2,356,995	2,979,821	622,826

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,138,094千円の収入（前期は976,557千円の収入）となりました。税引前当期純利益が858,437千円、売上債権の増加が511,268千円、仕入債務の増加が1,171,336千円ありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、168,471千円の支出（前期は135,604千円の支出）となりました。貸付金の回収による収入が338,000千円あった一方で、貸付けによる支出が500,000千円ありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、346,042千円の支出（前期は346,042千円の支出）となりました。配当金の支払が330,455千円ありました。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ622,826千円増加し2,979,821千円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
自己資本比率 (%)	48.8	64.1	67.4	69.6	63.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	—	—	102.3	108.4	110.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	196.0	21.3	17.5	4.4	2.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	64.9	112.3	—	—	—

(4) 今後の見通し

a. 売上高

<骨なし魚事業>

次期につきましては、原材料不足による売上の減少が見込まれるものの、骨なし魚トップシェア企業としての地位確保に向けて、ベトナム生産工場の拡充などにより引き続き仕入価格のコストダウン強化を図ってまいります。これにより売上高は10,961,577千円（前期比10.0%減）を予定しております。

<ミート事業>

主力商品である「楽らく匠味シリーズ」につきましては、完全調理品や加熱済み商品など調理の人手不足に対応した商品の拡販により、販売強化を図ってまいります。これにより売上高は2,899,999千円（前期比2.7%増）を予定しております。

<その他事業>

次期につきましては、ユーザーへの直接販売とマーケットニーズに合った新商品の販売推進により更なる拡販を図ってまいります。これにより売上高は13,538,424千円（前期比8.8%増）を予定しております。

b. 売上原価・販売費及び一般管理費

原材料値上げに伴う粗利低下が見込まれるものの、引き続き仕入のコストダウンに取り組んでまいります。また、目標達成賞与などにより人件費の増加を30,000千円予定しております。

以上により、第2四半期累計期間の業績予想は、売上高13,667,180千円（前期比1.2%減）、営業利益553,398千円（前期比16.2%減）、経常利益557,184千円（前期比16.1%減）、四半期純利益は380,556千円（前期比15.1%減）となる見込みであります。また、通期の業績予想は、売上高27,400,000千円（前期比0.2%減）、営業利益1,100,000千円（前期比29.9%増）、経常利益1,105,000千円（前期比28.7%増）、当期純利益770,000千円（前期比32.8%増）となる見込みです。

なお、当社の商品購買につきましてはすべて国内取引となっておりますが、パートナー工場の約60%が海外で生産しており、商品の仕入価格について間接的に為替の影響を受けております。当社では、1米ドル110円を前提に次期の業績予想を作成しましたが、次期の為替相場が当該前提と異なる状況となった場合、前記の売上高、費用及び利益は、為替相場の変動に応じた影響を受ける見込みであります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当面は日本基準を採用することとしておりますが、海外事業展開の進展状況のほか、国内外の動向も踏まえながら、IFRS適用に関する検討を進めてまいります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,356,995	2,979,821
受取手形	82,045	87,310
売掛金	4,426,650	4,932,654
商品	1,919,153	1,972,903
貯蔵品	10,101	14,699
前払費用	11,258	11,516
繰延税金資産	24,786	19,978
その他	156,291	288,567
貸倒引当金	△443	—
流動資産合計	8,986,840	10,307,450
固定資産		
有形固定資産		
建物	494,971	503,521
減価償却累計額	△370,096	△378,908
建物(純額)	124,875	124,612
構築物	1,144	1,144
減価償却累計額	△1,127	△1,130
構築物(純額)	16	13
機械及び装置	29,980	31,410
減価償却累計額	△10,702	△14,859
機械及び装置(純額)	19,277	16,550
工具、器具及び備品	44,046	44,796
減価償却累計額	△28,677	△34,737
工具、器具及び備品(純額)	15,368	10,058
土地	512,259	512,259
リース資産	33,315	33,315
減価償却累計額	△17,658	△23,244
リース資産(純額)	15,657	10,071
有形固定資産合計	687,454	673,566

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
無形固定資産		
ソフトウェア	104,251	79,822
リース資産	27,536	17,534
その他	4,828	4,828
無形固定資産合計	136,617	102,186
投資その他の資産		
投資有価証券	17,993	21,748
繰延税金資産	75,214	77,087
その他	119,805	119,456
貸倒引当金	△7,310	△7,310
投資その他の資産合計	205,703	210,982
固定資産合計	1,029,774	986,735
資産合計	10,016,615	11,294,185

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,901,113	3,072,450
リース債務	15,587	15,587
未払金	150,898	173,524
未払費用	279,666	320,558
未払法人税等	250,632	93,152
預り金	8,746	19,379
前受収益	818	818
賞与引当金	29,658	32,499
その他	69,478	—
流動負債合計	2,706,599	3,727,970
固定負債		
リース債務	27,606	12,019
退職給付引当金	202,547	221,253
その他	110,152	111,815
固定負債合計	340,306	345,087
負債合計	3,046,906	4,073,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金		
資本準備金	686,951	686,951
資本剰余金合計	686,951	686,951
利益剰余金		
利益準備金	185,083	185,083
その他利益剰余金		
別途積立金	2,100,000	2,100,000
繰越利益剰余金	2,084,876	2,334,286
利益剰余金合計	4,369,959	4,619,369
自己株式	△47	△47
株主資本合計	6,966,689	7,216,098
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,019	5,028
評価・換算差額等合計	3,019	5,028
純資産合計	6,969,708	7,221,127
負債純資産合計	10,016,615	11,294,185

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	27,104,835	27,442,741
売上原価		
商品期首たな卸高	1,916,426	1,919,153
当期商品仕入高	22,644,293	23,405,341
合計	24,560,720	25,324,494
商品期末たな卸高	1,919,153	1,972,903
売上原価合計	22,641,566	23,351,591
売上総利益	4,463,269	4,091,149
販売費及び一般管理費		
役員報酬	156,400	162,200
給料	796,003	786,863
賞与引当金繰入額	29,658	32,499
退職給付費用	44,296	54,417
運搬費	631,582	654,945
減価償却費	61,286	58,210
保管費	477,133	492,213
貸倒引当金繰入額	△431	△443
その他	997,079	1,003,568
販売費及び一般管理費合計	3,193,008	3,244,476
営業利益	1,270,260	846,673
営業外収益		
受取利息	2,168	3,408
受取配当金	238	280
受取賃貸料	8,976	8,976
その他	3,966	3,547
営業外収益合計	15,349	16,211
営業外費用		
賃貸収入原価	2,126	1,779
為替差損	181	754
その他	355	1,867
営業外費用合計	2,663	4,401
経常利益	1,282,946	858,483
特別利益		
投資有価証券売却益	12,833	—
特別利益合計	12,833	—
特別損失		
固定資産除却損	—	46
特別損失合計	—	46
税引前当期純利益	1,295,780	858,437
法人税、住民税及び事業税	429,101	276,523
法人税等調整額	△662	2,048
法人税等合計	428,438	278,572
当期純利益	867,341	579,864

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	1,909,825	686,951	686,951
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	1,909,825	686,951	686,951

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	185,083	2,100,000	1,547,989	3,833,072	△47	6,429,802	
当期変動額							
剰余金の配当			△330,455	△330,455		△330,455	
当期純利益			867,341	867,341		867,341	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	536,886	536,886	—	536,886	
当期末残高	185,083	2,100,000	2,084,876	4,369,959	△47	6,966,689	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,609	1,609	6,431,411
当期変動額			
剰余金の配当			△330,455
当期純利益			867,341
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	1,410	1,410	1,410
当期変動額合計	1,410	1,410	538,297
当期末残高	3,019	3,019	6,969,708

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	1,909,825	686,951	686,951
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	1,909,825	686,951	686,951

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金					
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	185,083	2,100,000	2,084,876	4,369,959	△47	6,966,689	
当期変動額							
剰余金の配当			△330,455	△330,455		△330,455	
当期純利益			579,864	579,864		579,864	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	249,409	249,409	—	249,409	
当期末残高	185,083	2,100,000	2,334,286	4,619,369	△47	7,216,098	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	3,019	3,019	6,969,708
当期変動額			
剰余金の配当			△330,455
当期純利益			579,864
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,008	2,008	2,008
当期変動額合計	2,008	2,008	251,418
当期末残高	5,028	5,028	7,221,127

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,295,780	858,437
減価償却費	67,195	62,826
投資有価証券売却損益(△は益)	△12,833	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△431	△443
受取利息及び受取配当金	△2,407	△3,688
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,287	2,841
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,968	18,706
売上債権の増減額(△は増加)	△49,838	△511,268
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,782	△58,347
仕入債務の増減額(△は減少)	△45,086	1,171,336
その他	68,194	13,571
小計	1,309,110	1,553,972
利息及び配当金の受取額	2,407	3,688
法人税等の支払額	△334,960	△419,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	976,557	1,138,094
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,827	△3,423
無形固定資産の取得による支出	△130,400	△2,287
投資有価証券の取得による支出	△848	△860
投資有価証券の売却による収入	14,000	—
貸付けによる支出	△240,000	△500,000
貸付金の回収による収入	250,000	338,000
その他	2,472	99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,604	△168,471
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△15,587	△15,587
配当金の支払額	△330,455	△330,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346,042	△346,042
現金及び現金同等物に係る換算差額	△181	△754
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	494,728	622,826
現金及び現金同等物の期首残高	1,862,266	2,356,995
現金及び現金同等物の期末残高	2,356,995	2,979,821

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、業務用冷凍食品卸売事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	1,160.02円	1,201.86円
1株当たり当期純利益金額	144.36円	96.51円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益(千円)	867,341	579,864
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	867,341	579,864
普通株式の期中平均株式数(株)	6,008,273	6,008,273

(重要な後発事象)

該当事項はありません。